

講演者のご紹介

(社)日本技術士会北海道支部 防災委員会

「気象災害予測のためのシミュレーションの最前線」

高橋 桂子 (たかはし けいこ)

独立行政法人海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター シミュレーション高度化研究開発プログラム プログラムディレクター (兼)アプリケーションラボ 気候変動応用ラボユニットユニットリーダー

(略歴)

1991年 東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻、博士後期課程修了。工学博士。

花王株式会社文理科学研究所 研究員、英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所 客員研究員、東京工業大学大学院総合理工学研究科 準客員研究員を経て、2002年より海洋科学技術センター(2004年より「独立行政法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)」に改称)に勤務。

(最近のおもな活動状況)

全球から都市スケールまでを包含することが可能なマルチスケール・マルチフィジックス予測シミュレーションに向けて、気候変動とローカルな気象・気候変動との相互メカニズム解明のための研究開発に従事。地球温暖化など、気候変化の中での気候変動に対してどのような適応策が存在するかについての研究開発に加え、そのための超大規模シミュレーションにおける超高度・超並列・高精度計算手法の研究を進めている。



「地域防災力の向上を目指して～尾鷲市の取り組みについて～」

川口 明則 (かわぐち あきのり)

尾鷲市 防災危機管理室 室長

(略歴)

1973年 尾鷲市役所に入庁。税務課、教育委員会を経て、2000年 総務課 庶務防災係長として防災行政に携わる。

2005年には、尾鷲市防災センターが設置され、新設された防災危機管理室に所属。2008年には、防災危機管理室長に就任するとともに、総務課長を兼任し、全庁的な防災行政の推進を図る。

(最近のおもな活動状況)

2004年の台風21号豪雨災害(9.29)では、被害の大きかった隣接の海山町(現紀北町)へ尾鷲市から災害支援として被災地に入り、陣頭指揮を執る。同年の新潟中越地震においては、三重県、三重大学と連携し、調査団の一員として被災地に入り、現地の災害対応等を調査。

2008年、全国に先駆けて全国瞬時警報システム(J-ALERT)を導入し、防災行政無線での緊急地震速報の配信をスタートさせる。また、自衛隊をはじめとする防災関係機関と顔の見える連携強化を図り、地震・津波や土砂災害に対する合同訓練の実施に取り組み、現在に至るまで12年間防災行政に従事している。

